議 事 日 程

令 和 6 年 6 月 19 日
午 後 3 時 30 分 開 会
さんくす3番館4階教育委員室

- 第 1 報告第 13号 吹田市教育委員会事務局職員の人事発令について
- 第 2 報告第 14号 吹田市社会教育委員の委嘱について
- 第 3 報告第 15号 吹田市立図書館協議会委員の解嘱について
- 第 4 報告第 16号 吹田市立博物館協議会委員の解嘱について
- 第 5 報告第 17号 控訴の提起に関する専決処分について
- 第 6 請願第 1号 大阪・関西万博への遠足・校外学習を強要しないことの請願
- 第 7 議案第 41号 吹田市立図書館協議会委員の委嘱について
- 第 8 議案第 42号 吹田市立博物館協議会委員の委嘱について
- 第 9 議案第 43号 吹田市立自然の家指定管理者候補者選定委員会委員の委嘱について

報告第17号

控訴の提起に関する専決処分について

標記のことについて、吹田市教育委員会の権限に属する事務の教育長に対する委任等に関する規則（昭和49年吹田市教育委員会規則第6号）第4条第2項の規定により、臨時に代理したので、報告します。

令和6年6月19日

吹田市教育委員会
教育長 大江 慶博

記

1 臨時に代理した日

令和6年5月28日

2 内容

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定による教育委員会の意見について、別表のとおりで異議ないものとなりました。

別表

控訴の提起に関する専決処分

専決処分 年月日	訴訟物の価額及び 相手方（被控訴人）	事 案 の 概 要
令和 6 年 5 月 2 9 日	500,000円 いじめ重大事態の 被害児童	市立小学校におけるいじめ重大事態の被害児童及びその両親が、本市に慰謝料の支払を求めている損害賠償請求事件について、第1審判決は、ガイドラインに違反した当該いじめに関するアンケート調査の手続が裁量権を逸脱した違法なものであるなどとして、被害児童の本市に対する賠償請求の一部を認めましたが、第1審判決が、ガイドラインに違反した手続を裁量権の逸脱とまで評価したこと等について納得することができないため、大阪高等裁判所に控訴したものです。

請願第1号

大阪・関西万博への遠足・校外学習を強要しないことの請願

標記のことについて、次のとおり受理したので提出します。

令和6年6月19日提出

吹田市教育委員会
教育長 大江 慶博

記

- 1 受理年月日 令和6年5月29日
- 2 請願者 「夢洲カジノを止める会」吹田
籠谷 成幸
- 3 請願の内容 別紙のとおり

写

吹田市教育委員会
教育長 大江 慶博様

2024年5月29日

「夢洲カジノを止める会」吹田

籠谷 成幸

連絡先:

e-mail:

大阪・関西万博への遠足・校外学習を強要しないことの請願

昨年8月、大阪府吉村知事は2025年大阪・関西万博への児童・生徒の無料招待を発表しました。それを受け2024年2月に大阪府教委は「招待事業説明会」を開催し、吹田市教委はその事業内容をこの4月中旬に各小中学校に伝達、5月31日を期限に「意向調査に応じる」よう求めたと聞きました。

来年度4月～10月に行われる予定の大阪・関西万博は様々な問題点が指摘されています。会場の夢洲はごみ・廃棄物の処分場を埋め立てた人工島で、有害・汚染物質（PCB、ダイオキシンなど）が埋められています。また地盤沈下や液状化被害が生じる可能性もあります。開催時期は梅雨・台風・熱中症の怖れも大きく、地震・津波が起こらないとも言えません。にもかかわらず避難経路は橋とトンネルの2本のみで避難計画も十分とはいえません。3月末には建設工事現場でガス爆発事故も起こりました。児童・生徒の健康被害、命にかかわる問題です。

このような数多くの問題点の解決なく、児童・生徒を学校・学年単位で連れて行って「安全、安心な遠足」ができるのでしょうか。私たち市民・保護者はたいへん危惧をしています。何よりもピーク時に来場する児童・生徒は1日約1.4万人と想定しており、どうやってバス・電車で連れて行くのか、学校の負担、保護者の心配は大きなものと想像されます。大阪府教委は「招待であり強要はしない」と表明しています。

吹田市教育委員会は市内全児童・生徒の教育のみならず健康・安全に最大の配慮と責任を負っているものと考えます。その観点から以下の点につきまして、6月定例会議において議論していただくようお願いいたします。

記

- (1) 万博への遠足・校外学習を強要せず、学校の判断を尊重してください。
- (2) 「万全の安全」が確保されるのか、以下の点を十分に検討してください。
 - ①メタンガス事故が二度と起こらないよう対策はなされるのか。
 - ②熱中症、有害物質による健康被害対策は万全か。
 - ③「医療的ケア児」らに対応できる医療拠点は整備されるのか。
 - ④移動手段（特に低学年児童）は適切に確保されるのか。
 - ⑤大雨、台風、地震、津波等の避難対策は十分か。